



令和3年4月15日東京都新宿区のマンション地下駐車場で、二酸化炭素消火設備のなんらかの誤作動により二酸化炭素が放出され、天井の張り替え作業をしていた男性6名が中に閉じ込められ、このうち4名が死亡しました。二酸化炭素消火設備をめぐる事故は各地で相次いでおり、今年1月にも東京都港区ビル地下駐車場で作業員2名が死亡、また、昨年12月には愛知県名古屋市ホテル地下駐車場で作業員1名が死亡、従業員等10名が負傷する事故が発生しています。

皆さまの建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項にご注意ください。

## 1 工事やメンテナンス時

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンスを行う場合

- ① 誤作動や誤放出を防ぐため二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち合わせるなど、作業時の安全を確保する。
- ② 関係者以外の人立ち入らないように管理を徹底する。

## 2 建物利用者などへの周知

防火管理者や自衛消防隊員、二酸化炭素消火設備設置場所の利用者等に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法等について周知する。

## 3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、すぐに119番通報をして、放出場所に人を立ち入らせない。

## 二酸化炭素消火設備についてのQ & A

Q 1 : 二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？

A : 二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

Q 2 : 二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？

A : 二酸化炭素消火設備の特徴として、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q 3 : 二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？

A : 以下の2通りがあります。

- ①手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押すと放出する場合
- ②自動火災報知設備の感知器の作動と連動して放出する場合

Q 4 : 二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？

A : 消火剤である二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。

Q 5 : 主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？

A : 二酸化炭素消火設備の手動起動装置の手動起動ボタンを誤って押してしまったために、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。

**※手動起動装置の起動ボタンは、火災の時以外絶対に押さないでください**

**い！！ 誤って起動させたときは、すぐに非常停止ボタンを押してください**

**さい！！**

問合せ先

稲敷広域消防本部予防課

TEL 0297-64-3744